# 高等学校 令和６年度（２年次） 教科 国語 科目 文学国語

教　科：　国語　　科　目：　文学国語　　単位数：　2　単位

対象年次組：第　2 年次　Ｅ 組・　Ｆ 組

教科担当者：　（Ｅ組：山本　）　（Ｆ組：小沢　）

使用教科書：　（　数研出版　文学国語　）

教科　国語　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】　社会生活に必要な国語について、その特質を十分理解し、適切に使うことが出来るようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　社会生活における他者との関わりの中で、お互いに伝え合う力を高め、思考力・判断力・想像力を伸長する。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上と判断力を養う。

科目　文学国語　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 | 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 | 言葉を通して積極的に他者や社会と関わったり、物の見方考え方を深めたりしながら、言葉が持つ力を認識するとともに、読書に親しむことで自己を向上させる。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 話・聞 | 書 | 読 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | A　単元「山月記」中島敦<br>【知識及び技能】<br>本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解させる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>文章を的確に読み取り、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えることができるようにさせる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>内容の解釈を踏まえて粘り強く李徴と袁傪の行為を評価し、表現の仕方を工夫して書こうとさせる。 | ・指導事項<br>李徴と袁傪のそれぞれの心情を理解し、李徴がなぜ虎にならねばならなかったのかを考え、自分の意見や考えを論述する。<br>・教材　教科書、国語便覧など<br>・一人１台端末の活用等 | | ○ | ○ | ・比喩などの修辞について理解を深めている。<br>・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。<br>・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | B　単元「文学のふるさと」坂口安吾<br>【知識及び技能】<br>文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解させる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>「読むことに」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、論理の展開について叙述を元に的確に捉え、論旨や要点を把握させる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析させる。 | ・指導事項<br>常用漢字を文や文章の中で活用する。<br>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。<br>文章の効果的な接続の仕方を理解する。<br>主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。<br>・教材　教科書、国語便覧など<br>・一人１台端末の活用等 | ○ | | ○ | ・本文中の主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。<br>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。<br>・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2学期 | C 単元「こころ」夏目漱石<br>【知識及び技能】<br>文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解させる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫させる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとさせる。 | ・指導事項<br>先生とKの行動から心情を理解し、エゴイズムに苦悩する近代人の苦しみを理解する。。<br>・教材　教科書、国語便覧など<br>・一人１台端末の活用等 | | ○ | ○ | ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。<br>・作品を通して人間は「自分自身のエゴ」を抱えてどう生きるかという課題と向き合い、「作者」は何を感じ、何を伝えたいかを読み解くなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えている。<br>・登場人物1人1人の立場や心情を理解し、それらを自分の人生にどう生かしていけるかを考え、感想を書こうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | C 単元「こころ」夏目漱石<br>【知識及び技能】<br>文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解させる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫させる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとさせる。 | ・指導事項<br>先生とKの行動から心情を理解し、エゴイズムに苦悩する近代人の苦しみを理解する。<br>・教材　教科書、国語便覧など<br>・一人１台端末の活用等 | | ○ | ○ | ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。<br>・作品を通して人間は「自分自身のエゴ」を抱えてどう生きるかという課題と向き合い、「作者」は何を感じ、何を伝えたいかを読み解くなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えている。<br>・登場人物1人1人の立場や心情を理解し、それらを自分の人生にどう生かしていけるかを考え、感想を書こうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 14 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3学期 | D 単元「山椒魚」井伏鱒二<br>【知識及び技能】<br>言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。 | ・指導事項<br>登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。<br>・教材　教科書、国語便覧など<br>・一人１台端末の活用等 | | ○ | ○ | ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。<br>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。<br>・粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って作品に込められた寓意について、自分自身の生き方や考え方に触れながら文章にまとめようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 9 |
| | E　単元「詩歌」島崎藤村・宮澤賢治・石垣りん<br>【知識及び技能】<br>比喩などの修辞について理解を深めさせる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>詩歌の内容を読み味わい、詩歌の表現を分析することにより、「書くこと」においても自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫しようとさせる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>自分の意見や考えを論述するために、詩歌の内容や構成、心情の展開の仕方などを積極的に捉えようとさせる。 | ・指導事項<br>詩歌の表現や作者の思いを学ぶと共に、自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。<br>また、読書の意義と効用を理解する。<br>・教材　教科書、国語便覧など<br>・一人１台端末の活用等 | ○ | ○ | ○ | ・詩歌の中に出てくるする主な常用漢字や語句・語彙を学び、また詩歌の効果的な表現や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。<br>・根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えている。<br>・自分の意見や考えを論述するために、詩歌の内容や構成、心情の把握の仕方などを積極的に捉えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 定期考査 | | | | | | | | | 1 |
| | | | | | | | | | | 合計 70 |